岡山市広報連絡資料＜市長記者会見資料＞

令和8年11月24日

路面電車が試験走行のため
初めて岡山駅前広場へ乗り入れます

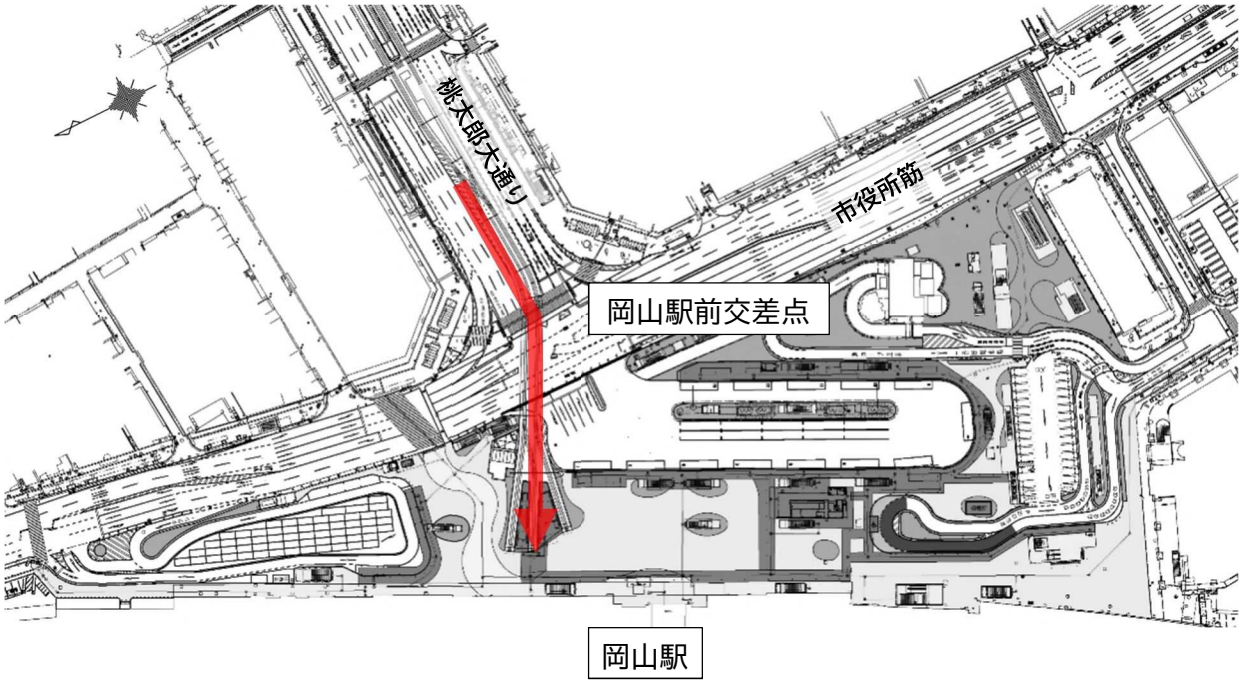
岡山駅前広場への路面電車乗り入れについては、令和9年3月の開業に向けて鋭意工事を進めています。この度、路面電車が試験走行のため、初めて岡山駅前広場へ乗り入れしますので、お知らせします。

1 路面電車が初めて岡山駅前広場へ乗り入れする日時

日　　時　　令和8年12月14日(月)22時40分から　※最終バス出発後
　　※雨天決行します。
事 業 者　　岡山電気軌道㈱

2 路面電車走行区間

岡山駅東口駅前広場ほか(北区駅元町ほか)



3 走行内容

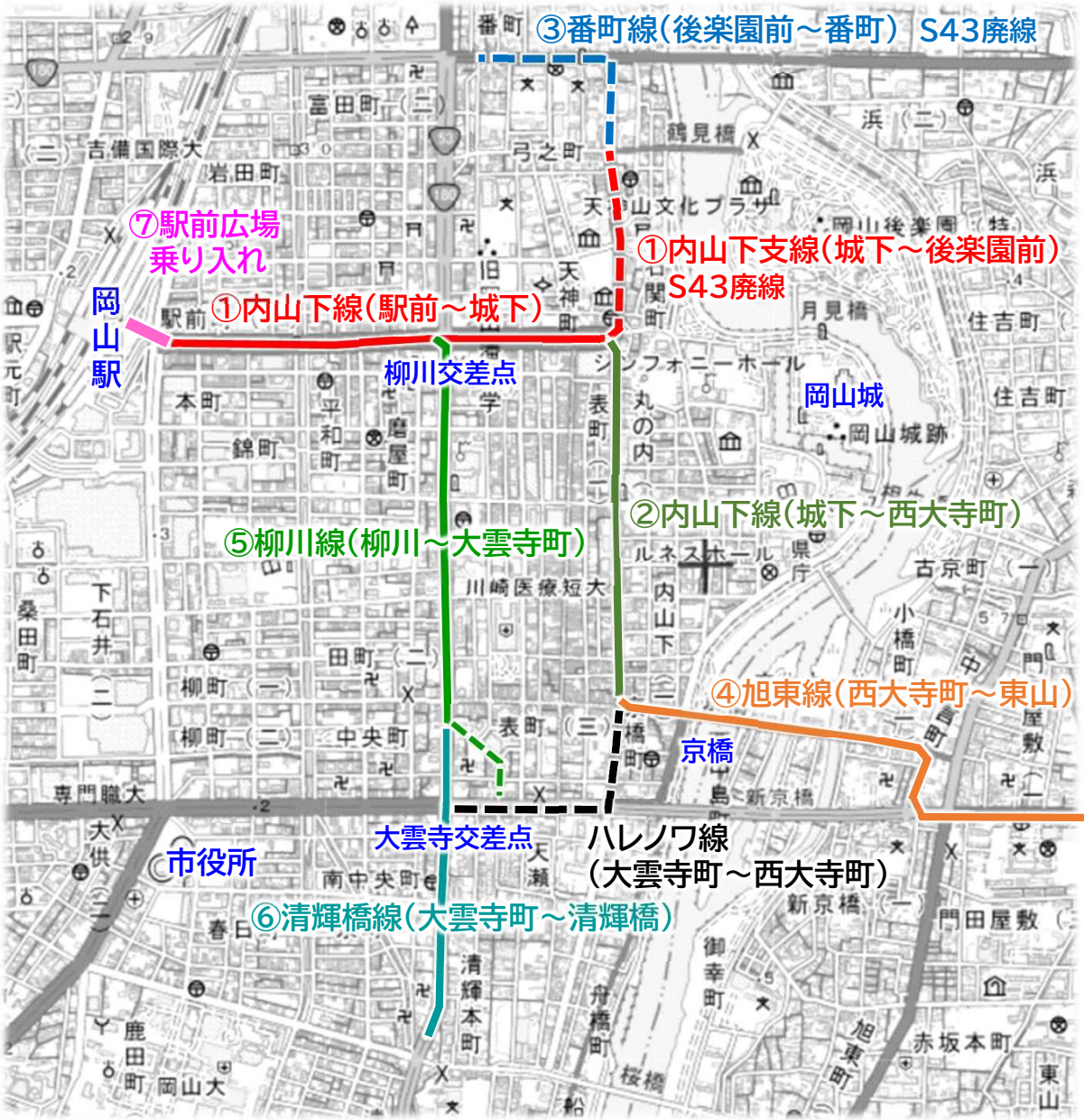
- 軌道法の竣工検査等に向けて、実際の車両を使用し岡山電気軌道㈱が走行確認を行います。
- 確認する内容は、レール、軌道版及び樹脂固定の施工状況（音、振動）、建築限界（支障物）、車両とホームとの離隔、停車位置、架線とパンタグラフの接触具合などについて、目視確認するものです。
- 当日の乗り入れ車両は、短い車両を2両用いる予定です。今後とも、検査に向けた計測等を行うため、随時MOMOなどの長い車両（連接車両）も含め、様々な車両が岡山駅前広場に乗り入れます。

4 その他

- 工事現場での取材となりますので、市でヘルメットの準備をします。
  取材希望の方は、必ず下記連絡先（E-mail）まで社名及び人数の事前連絡をお願いします。
  E-mail seibudouro@city.okayama.jp
- 安全確保のため、工事現場内での取材については、指示に従うようお願いします。
- 当日の詳細な作業内容等については、
  岡山電気軌道㈱ 担当 礒野 086-272-5520 にお問い合わせください。

【問い合わせ先】
岡山市　西部幹線道路建設課　都心交通整備推進室
江川・湯浅　直通086-803-1385　内線33400・33401

岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業　路面電車の沿革



	年	路　線	総延長
①	M45.5.5 (1912)	内山下線 (駅前～城下)　約0.9km 内山下支線 (城下～後楽園口)　約0.4km	約1.3km
②	M45.6.1 (1912)	内山下線 (城下～西大寺町)　約0.8km	約2.1km
③	T10.7.26 (1921)	番町線 (後楽園前～番町)　約0.5km	約2.6km
④	T12.7.9 (1923)	旭東線 (西大寺町～東山)　約1.3km	約3.9km
⑤	S3.3.18 (1928)	柳川線 (柳川～大雲寺町)　約1.1km	約5.0km
⑥	S21.9.6 (1946)	清輝橋線 (大雲寺前～清輝橋)約0.6km	約5.6km
	S43.5.31 (1968)	番町線　廃止 (城下～番町)　▲約0.9km	約4.7km
⑦	R9.3 (2027)	岡山駅前広場への乗り入れ 約0.1km	約4.8km

昭和21(1946)年以来、80年ぶりに延伸！

※　ハレノワ線(約0.6km)はR11年度末完成予定

岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業　整備効果

電停のわかりやすさ向上

■電停がわかりやすくなる。
■移動の選択肢が増え、今まで以上に気軽に移動ができる。

乗り換え時間の短縮

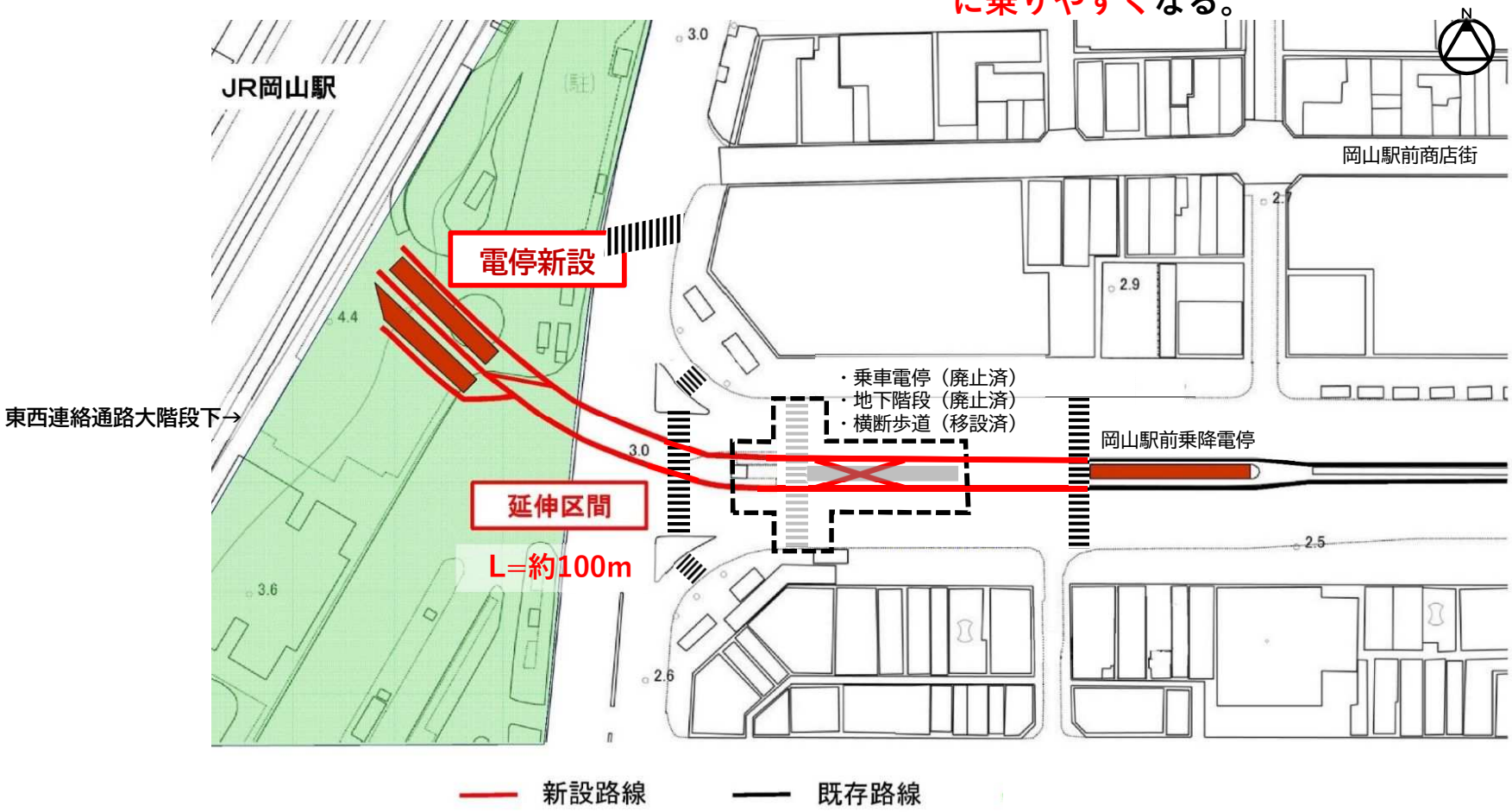
■鉄道、バス、タクシーとの乗り換え時間が短縮し、公共交通の連携が強化される。
（歩行距離１８０ｍ→４０ｍに短縮）
（１分３０秒～最大３分短縮）

安全性の向上

■道路を渡らずに、乗り降りができる。
（交差点横断回数2回→0回）
■高齢者や障害者、ベビーカーを押す人等をはじめとする利用者が路面電車に乗りやすくなる。

路面電車の利用者の増加

■乗り入れ後、路面電車の利用者数が一日当たり約１割、約1,000人の増加が見込まれる。



岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業　工事状況

令和８年１２月１４日（月）２２時４０分～
駅前広場に初の路面電車乗り入れ

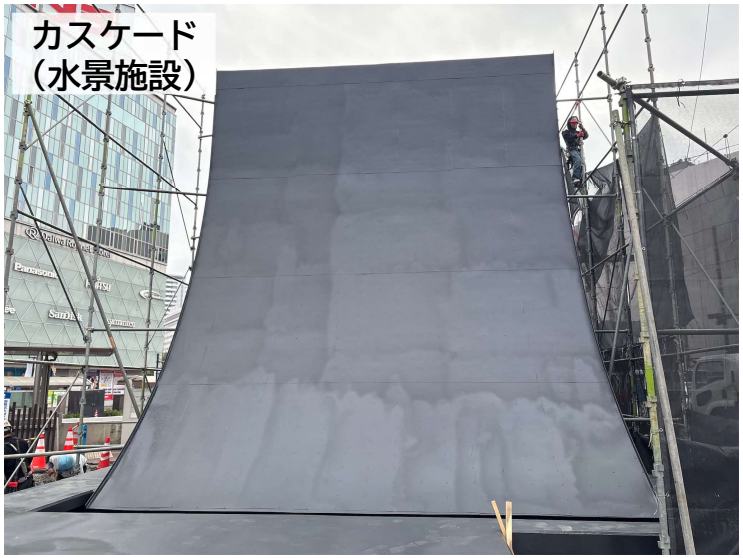


路面電車の乗り入れ完成イメージ

岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業　工事状況







路面電車乗り入れ　令和９年３月完成予定
カスケード　令和９年３月完成予定
駅前広場全体整備　令和11年度上半期完成予定